

(資料 1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移 (最近の動向)

令和 7 年 3 月 1 1 日
四 国 森 林 管 理 局

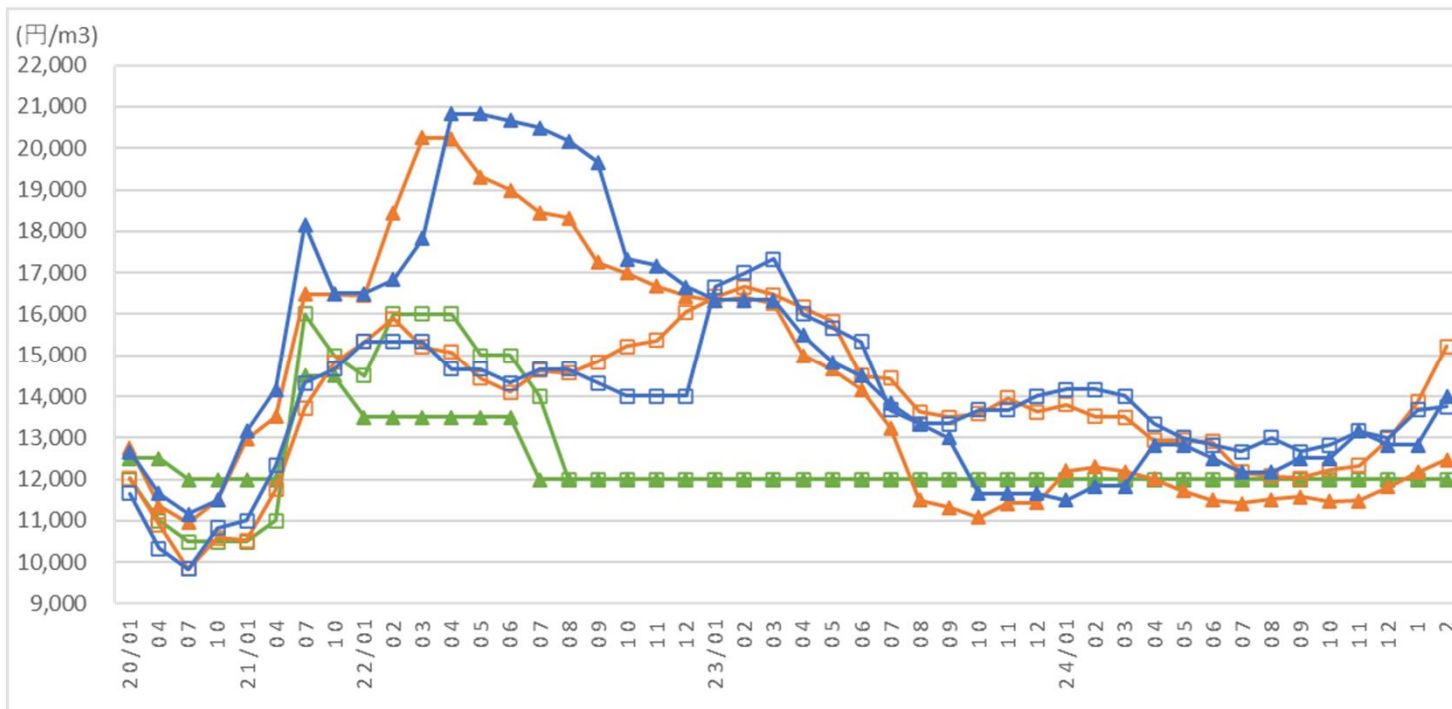
目 次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	丸太取扱量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	8
3	製材品価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	9
III	全国の丸太価格の動向・・・・・・・・・・・・・・・・	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移・・・・・・・・	12
2	全国の住宅着工戸数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	13

I 管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 丸太価格の推移（スギ、径14cm～16cm 長3m材・4m材）

- 愛媛県、高知県では、令和6年に入って3m材・4m材ともに小幅な下落傾向にあったが、8月以降は値上がり傾向にある。
- 徳島県は、令和4年7月以降引き合いが弱く、横ばいで推移している。
- 令和7年2月のスギ丸太価格は、前年同月比97%から118%で推移。



○ 2月のスギ丸太価格

(円/m³)

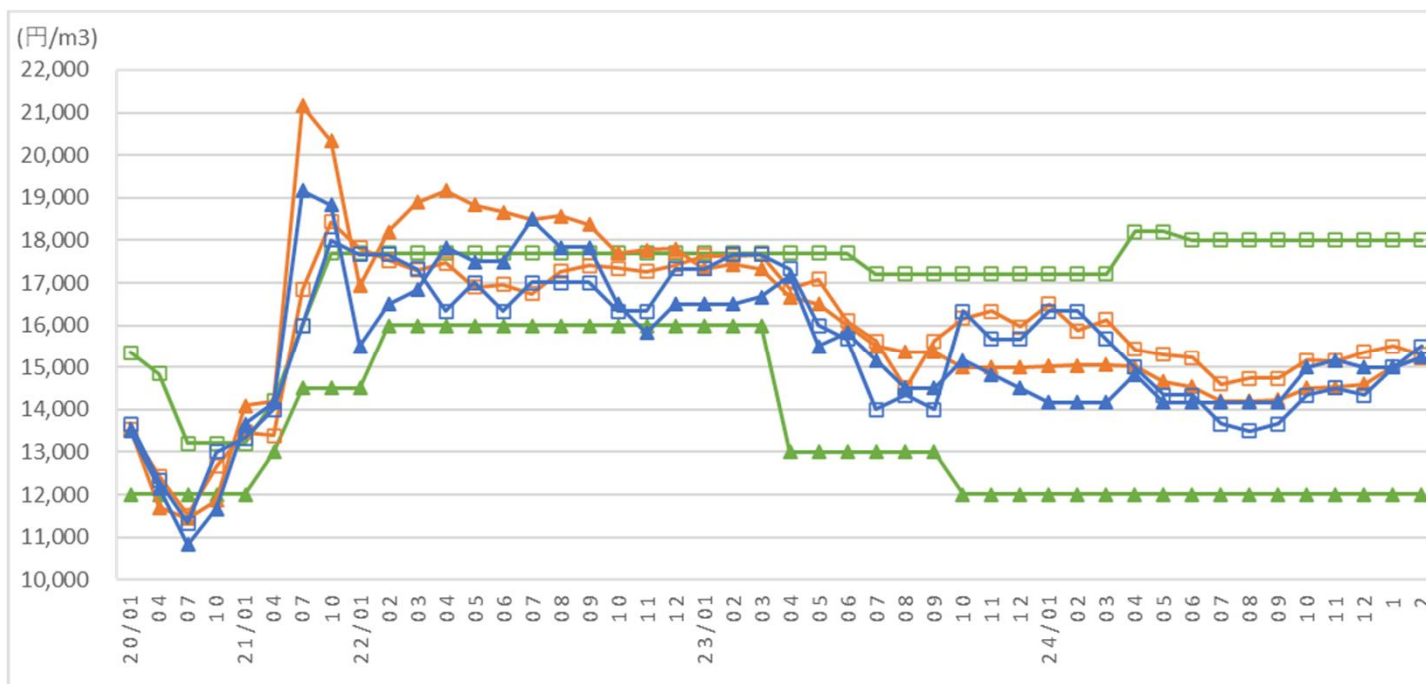
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	12,000	100%
	□ 4 m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3 m材	12,480	12,300	101%
	□ 4 m材	15,217	13,517	113%
高知県	▲ 3 m材	14,000	11,833	118%
	□ 4 m材	13,750	14,167	97%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(2)丸太価格の推移（スギ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県では、令和6年に入っても3 m材・4 m材ともに小幅な値下げ傾向が続いたが、8月以降は値上がり傾向にある。
- 徳島県は令和5年以降は、ほぼ横ばいで推移している。
- 令和7年2月のスギ丸太価格は、前年同月比95%から108%で推移。



○ 2月のスギ丸太価格

(円/m³)

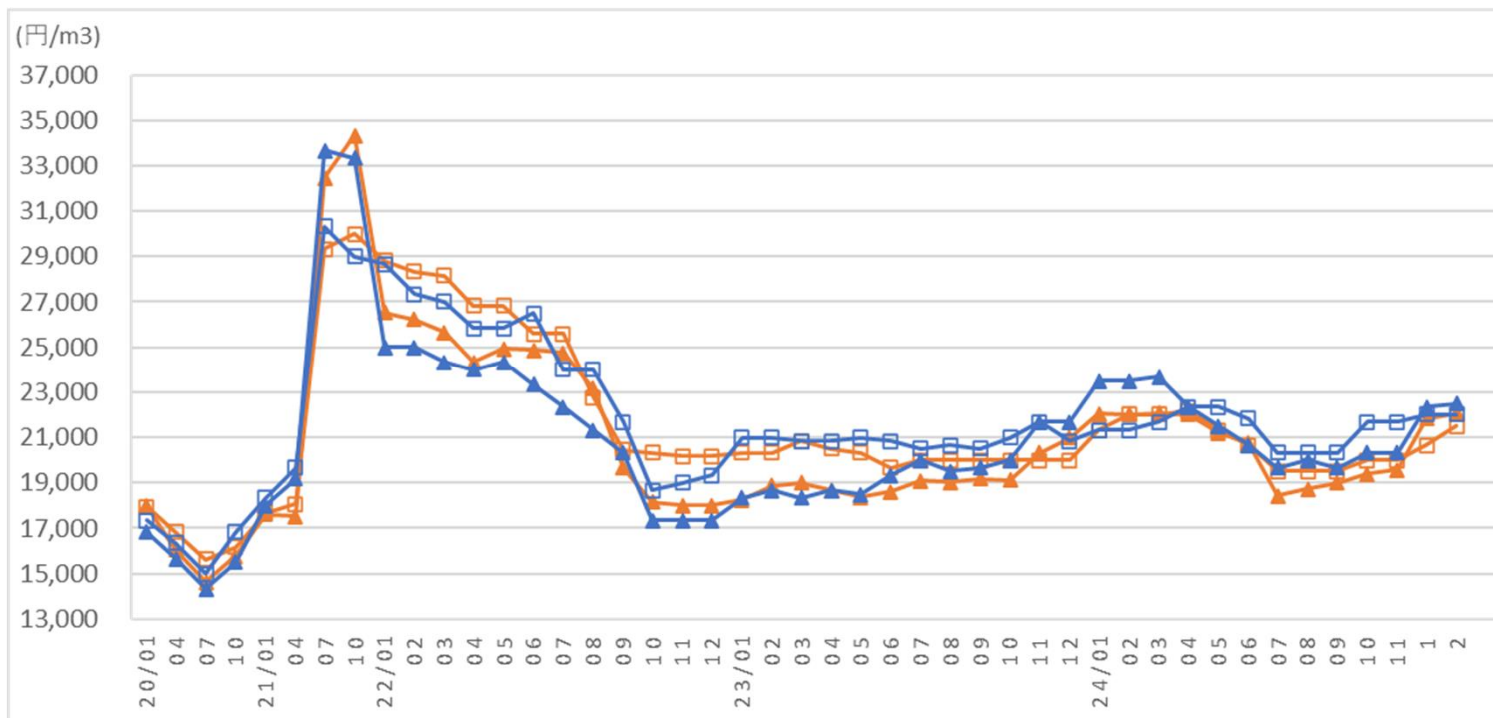
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	12,000	100%
	□ 4 m材	18,000	17,200	105%
愛媛県	▲ 3 m材	15,233	15,050	101%
	□ 4 m材	15,300	15,867	96%
高知県	▲ 3 m材	15,250	14,167	108%
	□ 4 m材	15,500	16,333	95%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(4)丸太価格の推移（ヒノキ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 令和6年に入っても概ね安定した状態が続いていたが、5月頃からは3 m材・4 m材ともに下落傾向に転じたが、8月以降は値上がり傾向にある。
- 令和7年2月のヒノキ丸太価格は、前年同月比96%から103%で推移。



○ 2月のヒノキ丸太価格

(円/m3)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	22,080	22,013	100%
	□ 4 m材	21,500	22,000	98%
高知県	▲ 3 m材	22,500	23,500	96%
	□ 4 m材	22,000	21,333	103%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

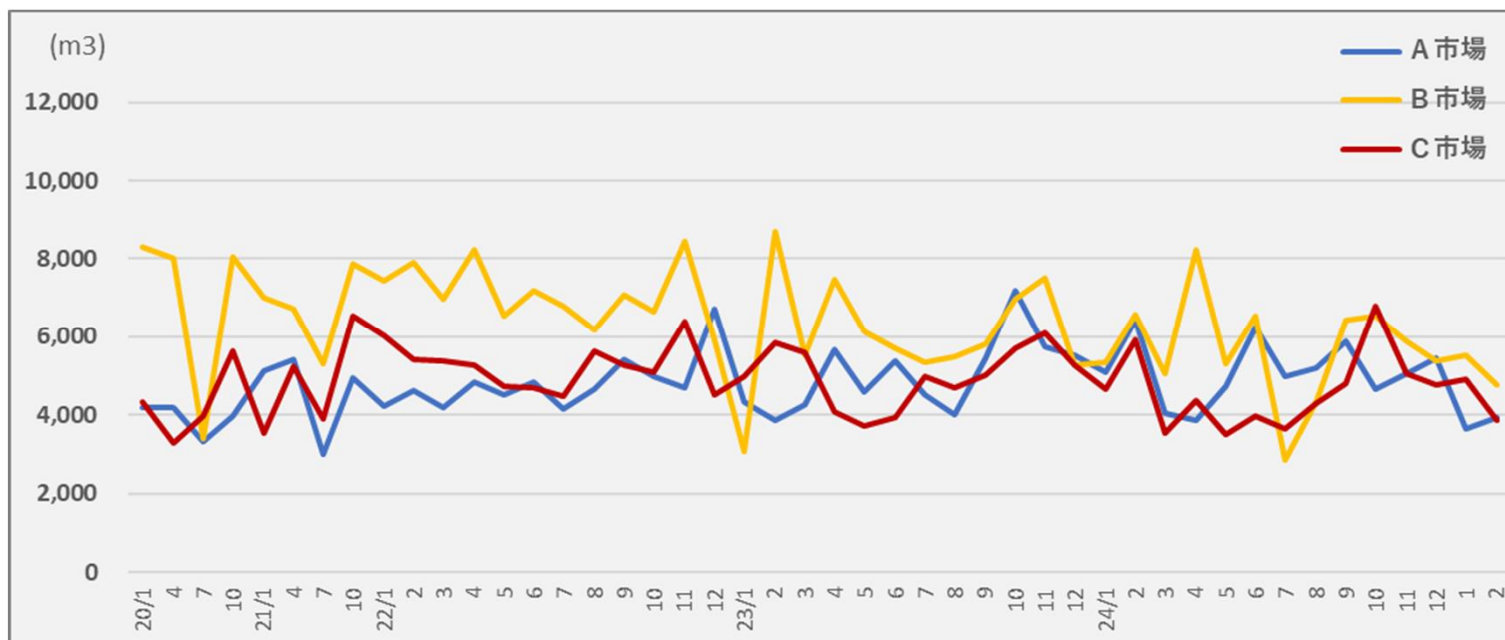
Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 丸太取扱量の推移（愛媛県）

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における12月から2月の丸太取扱量は、減少傾向にある。
- 直近3か月（12～2月）を、前年同時期と比べると84%で推移。

直近3か月（12～2月）の入荷量

	2024年度	2023年度	前年度同期比
A市場	13,065	17,064	77%
B市場	15,686	17,187	91%
C市場	13,563	15,853	86%
計	42,314	50,104	84%



（市場関係者のコメント）

・入荷量は積雪等の影響もあり、依然として少ない。

・スギ・ヒノキ共に原木不足の中、価格は値上がり傾向が続いている。

・スギは30上大径材（特に40上）が大きな値上がり。ヒノキは3m柱口・4m土台を中心に値上がり傾向

・一部の市場では天候が回復し一気に出材が増加。

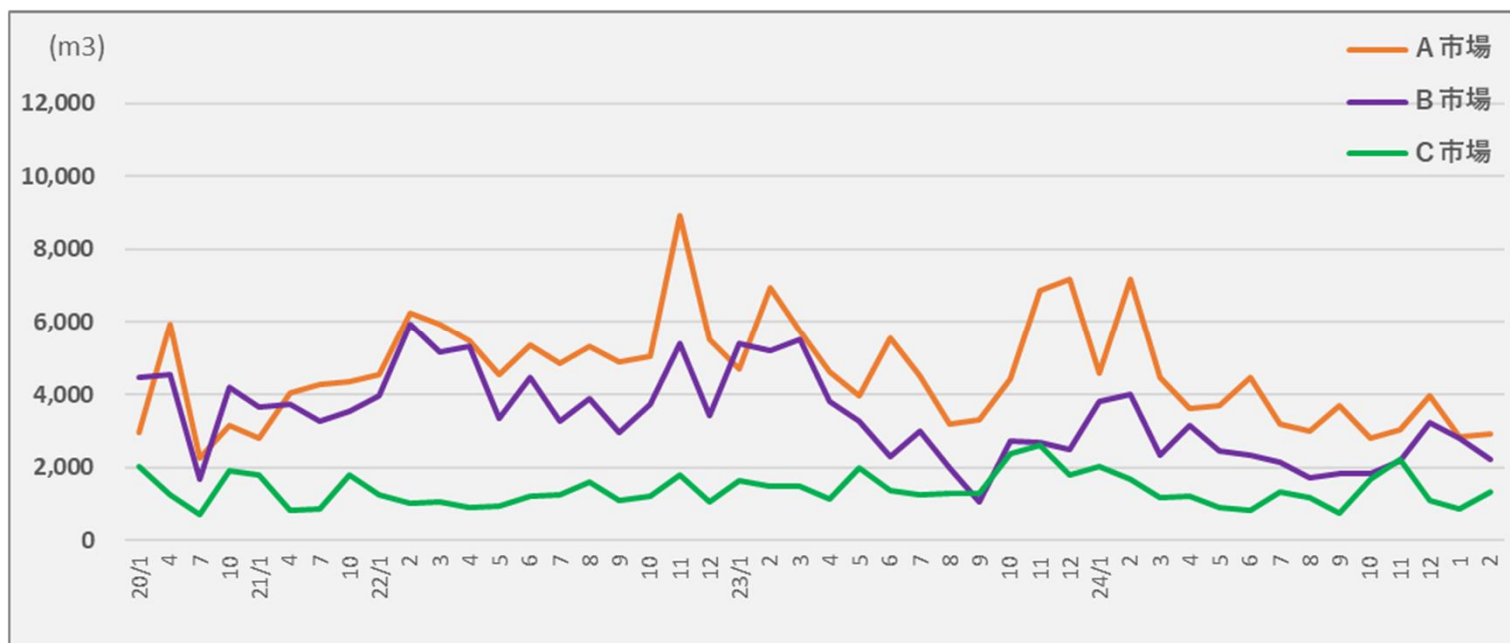
・出材が回復し値下がりが見込まれる。

2-(2) 丸太取扱量の推移（高知県）

- 高知県内の主な原木市場・共販所における12月～2月の丸太取扱量は、減少傾向にある。
- 直近3か月（12～2月）を、前年同時期と比べると61%で推移。

直近3か月（12～2月）の入荷量

	2024年度	2023年度	前年度同期比
A市場	9,720	19,000	51%
B市場	8,250	10,300	80%
C市場	3,253	5,497	59%
計	21,223	34,797	61%



（市場関係者のコメント）

・入荷量はスギ・ヒノキとも少なく品薄高。スギ・ヒノキともに4月頃まで強保合予想。

・原木不足からスギ・ヒノキとも引き合いはあるが、製品価格には反映されていない。

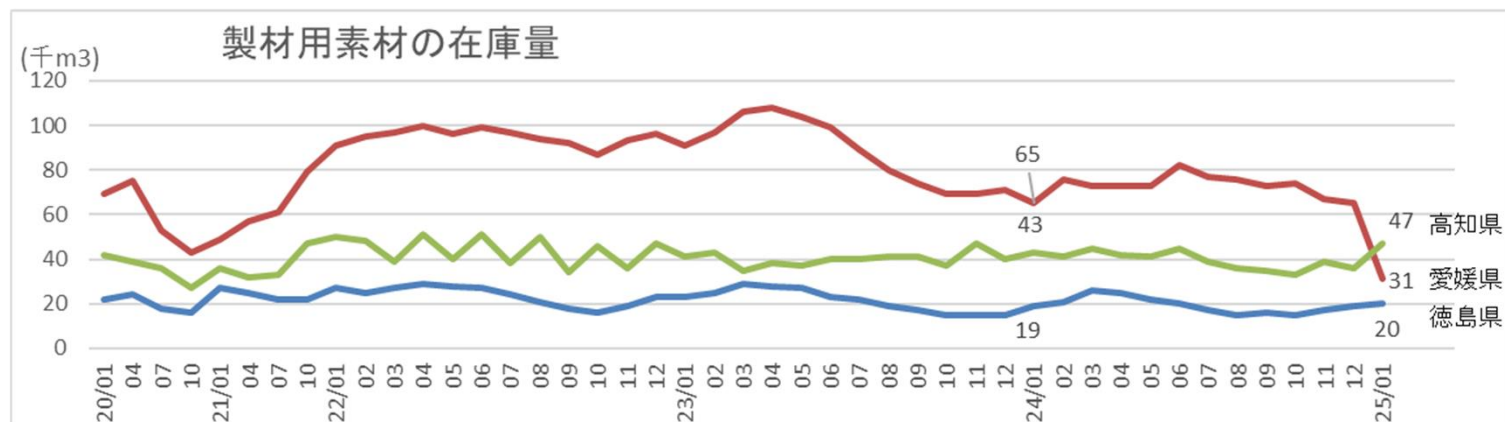
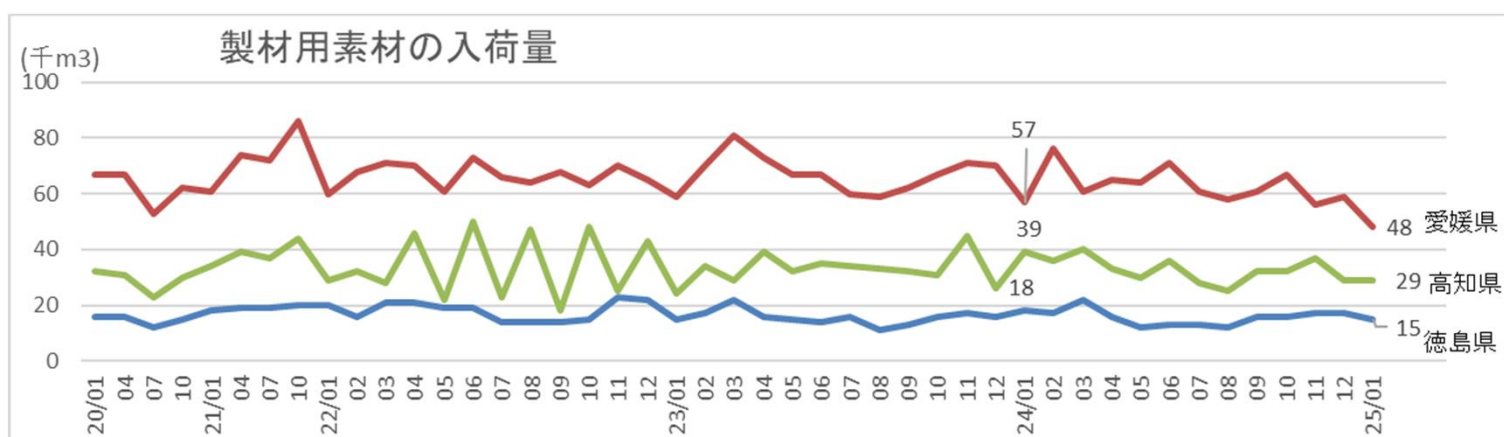
・原木在庫量が少ないため材の引き取りは良好。

・今後の出材量は変わらないと思われる。

Ⅱ 管内における製材等の状況

1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和6年）

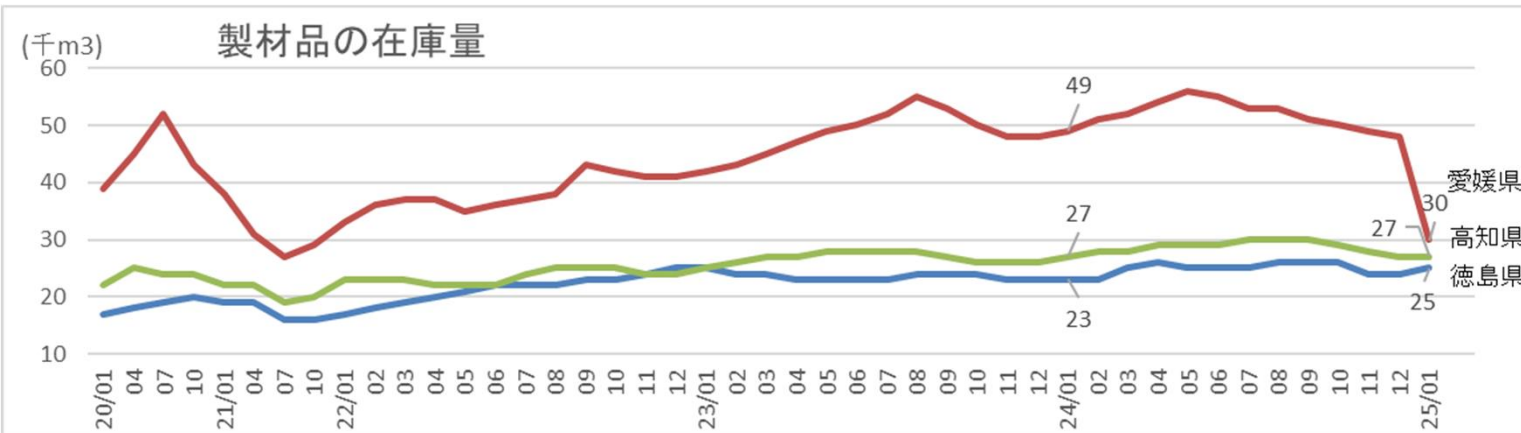
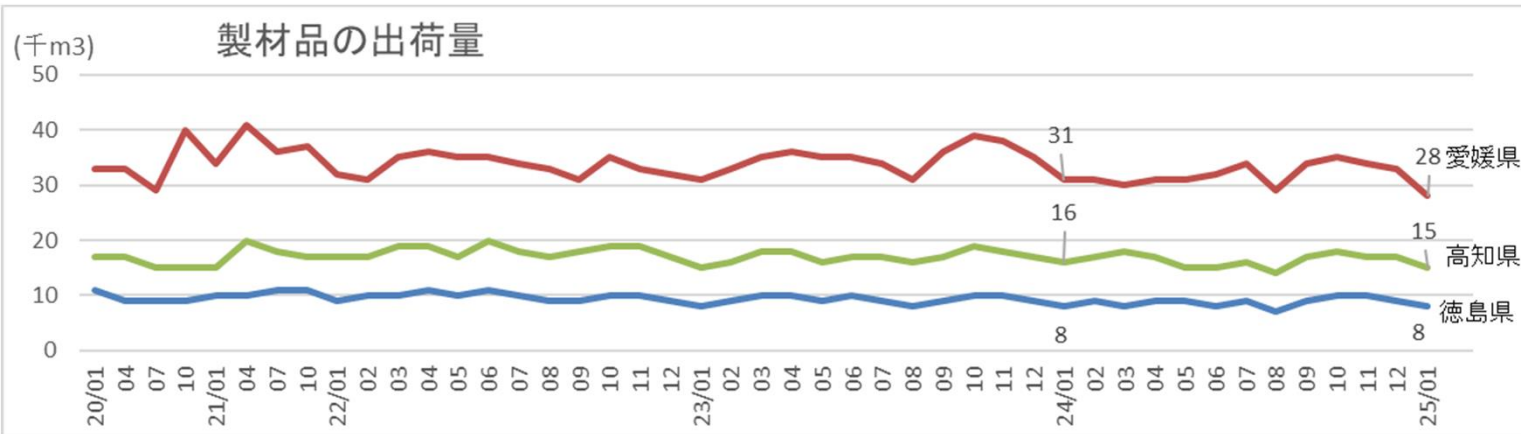
- 四国の11～1月の製材用素材の入荷量は、307千m³（前年比86%）、徳島県、愛媛県、高知県3県とも減少となった。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、38千m³（前年比90%）、徳島県は増加。愛媛県、高知県ともに減少となった。



資料：農林水産省「製材統計」

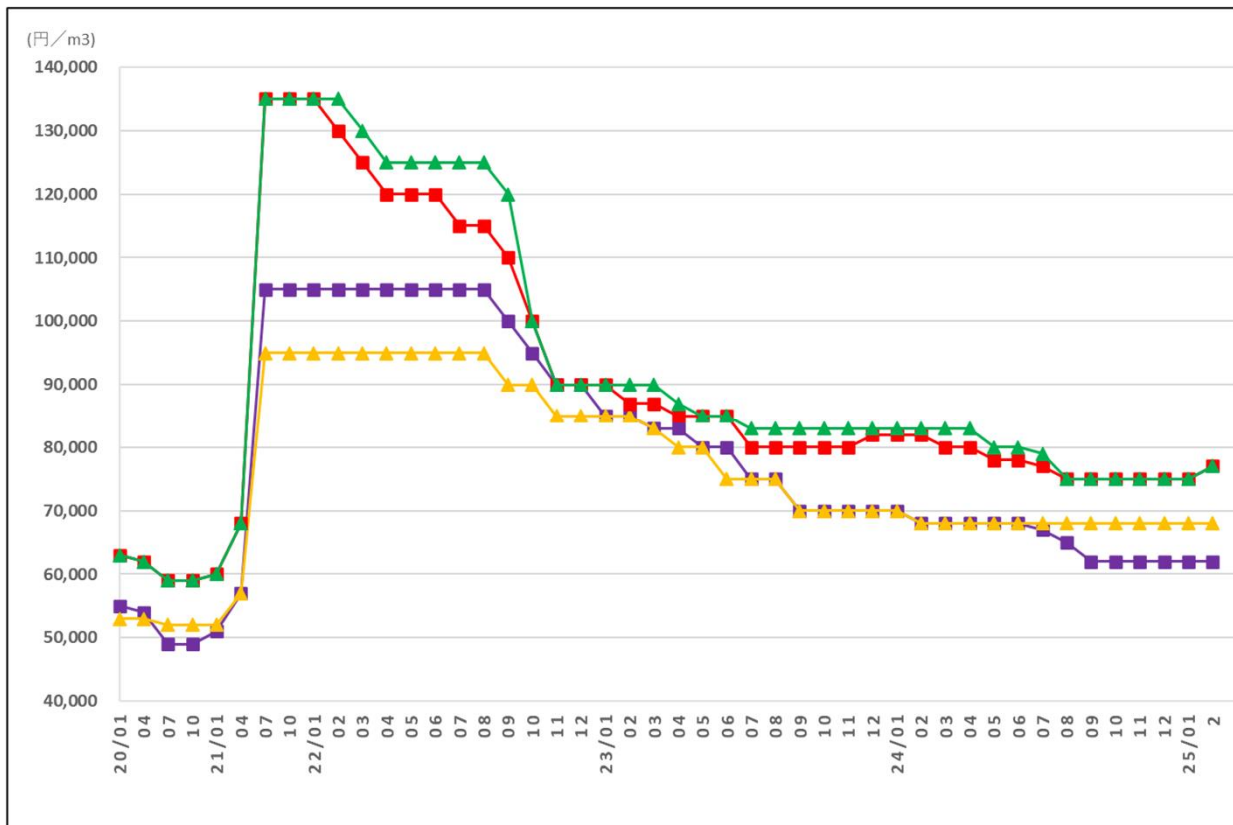
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和6年）

- 四国の11～1月の製材品出荷量は、171千m3（前年比94%）、徳島県は横ばい。愛媛県、高知県ともに減少となった。
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、31千m3（前年比97%）、徳島県、高知県ともに増加。愛媛県は減少となった。



3. 製材品価格の推移

- 令和5年は買い方の動きは悪く、価格は総じてジリ安傾向が続いた。
- 令和6年に入って横ばい傾向であったが、ヒノキの製材品について値上げとなった。前年同月比では91%から100%で推移。



国産材製品の相場（愛媛県）令和7年2月

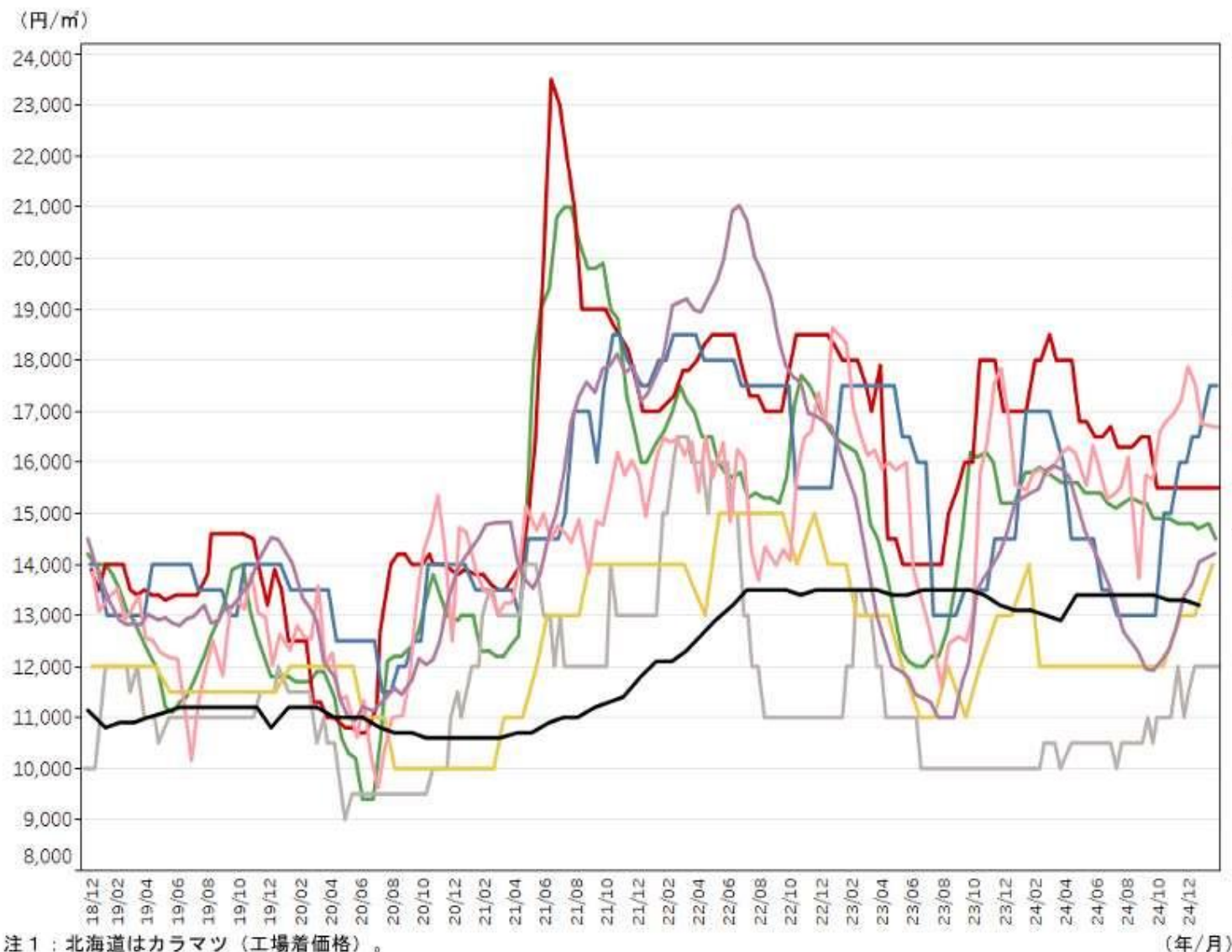
(円/m³)

品目	当月	前年同月	前年同月比
■ スギ柱 3m x 105mm 角KD特等	62,000	68,000	91%
▲ スギ間柱 3m x 105 x 30mm 角KD特等	68,000	68,000	100%
■ ヒノキ柱 3m x 105mm 角KD特等	77,000	82,000	94%
▲ ヒノキ土台 4m x 105mm 角KD特等	77,000	83,000	93%

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

ア スギ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ・ 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～17,500円/㎡となっている。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

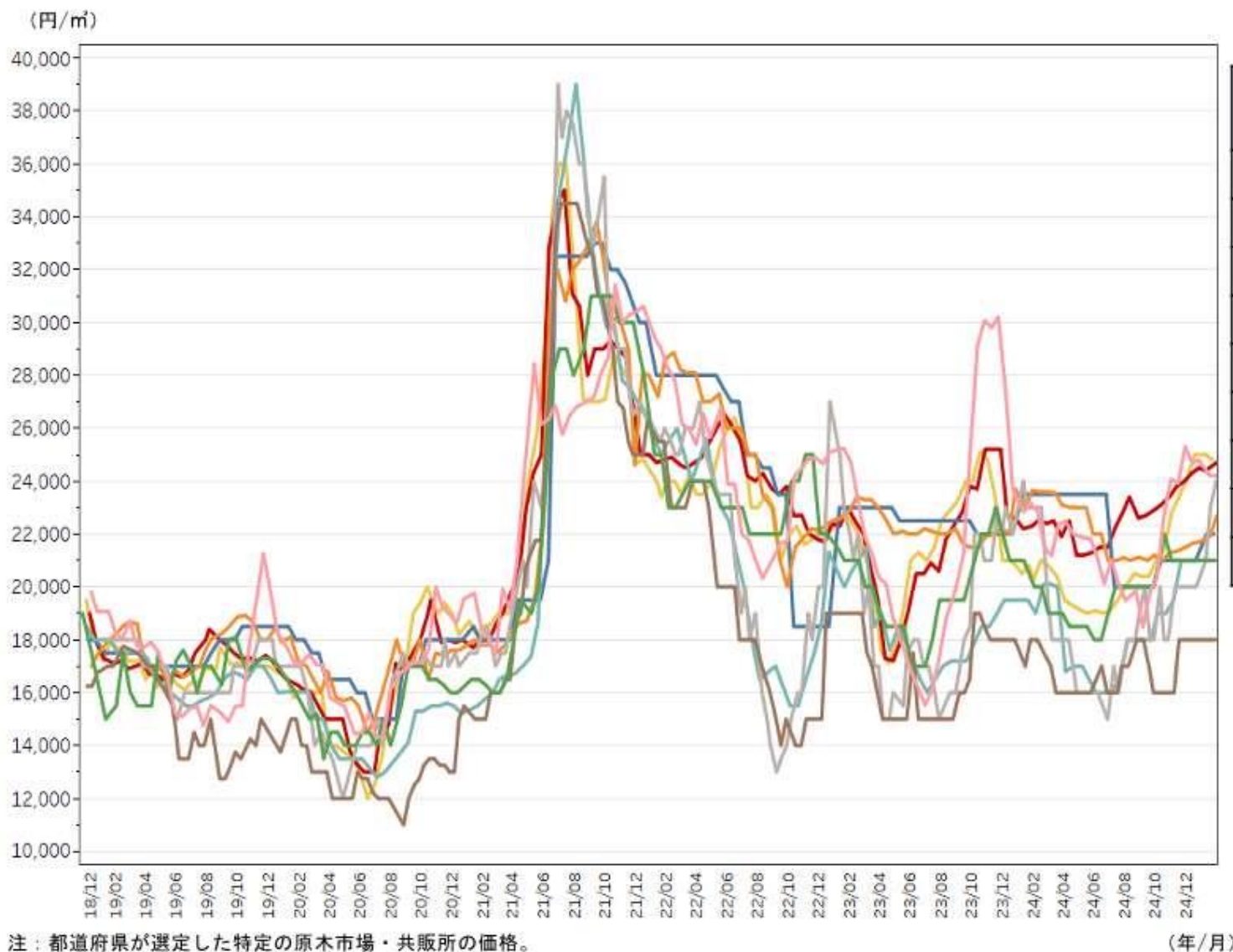
都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,200	13,100	101%
秋田県	14,210	15,390	92%
栃木県	16,690	15,790	106%
長野県	14,000	14,000	100%
岡山県	12,000	10,000	120%
高知県	17,500	17,000	103%
熊本県	15,500	18,000	86%
宮崎県	14,500	15,800	92%

※北海道については12月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については1月の値を使用。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、**18,000円～24,800円/㎡**となっている。



注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

（単位：円/㎡）

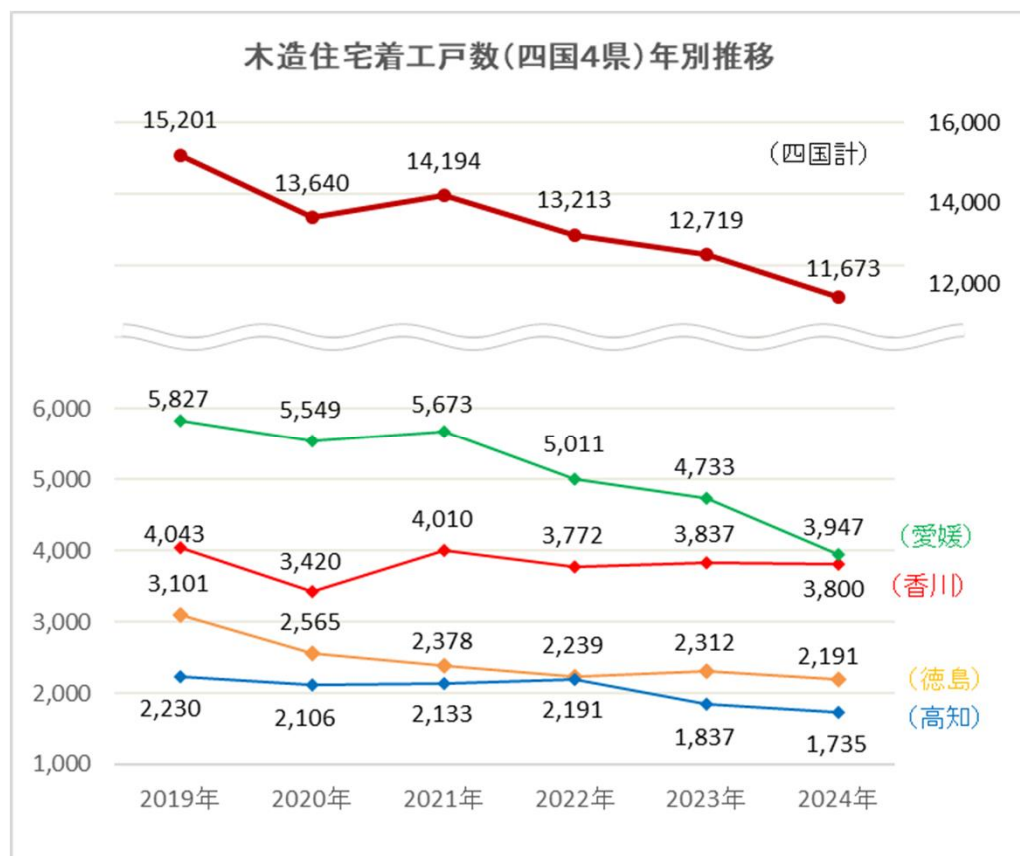
都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	24,200	23,180	104%
静岡県	21,000	21,000	100%
兵庫県	18,000	18,000	100%
岡山県	24,000	23,000	104%
広島県	21,000	19,500	108%
愛媛県	22,680	23,650	96%
高知県	22,000	23,500	94%
熊本県	24,700	22,300	111%
大分県	24,800	20,800	119%

※各県1月の値を使用。

Ⅳ 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移

- 四国における2024年1月～12月の木造住宅着工戸数は、11,673戸（前年比91.8%）となり、2023年に続き過去10年間で最も低い水準となった。
- 県別をみると、徳島県（前年比94.8%）、香川県（前年比99.0%）、愛媛県（前年比83.4%）、高知県（前年比94.4%）と4県すべてで前年を下回った。



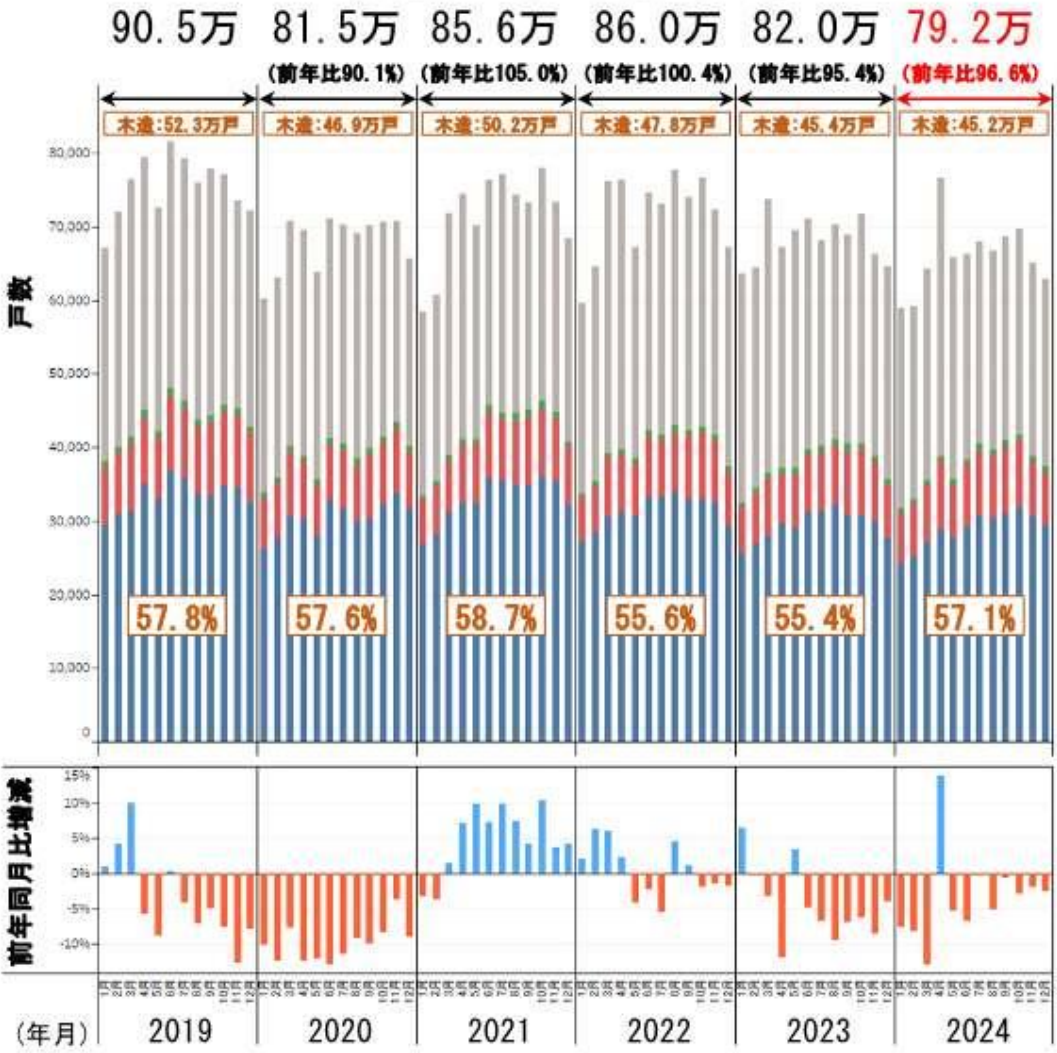
年別推移(1月～12月)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	四国計	全国計
2019年	3,101	4,043	5,827	2,230	15,201	523,319
2020年	2,565	3,420	5,549	2,106	13,640	469,284
2021年	2,378	4,010	5,673	2,133	14,194	502,333
2022年	2,239	3,772	5,011	2,191	13,213	477,883
2023年	2,312	3,837	4,733	1,837	12,719	454,427
2024年	2,191	3,800	3,947	1,735	11,673	452,252
前年比	94.8%	99.0%	83.4%	94.4%	91.8%	99.5%
2022年比	97.9%	100.7%	78.8%	79.2%	88.3%	94

2 全国の住宅着工戸数の推移（2019年1月～2024年12月）

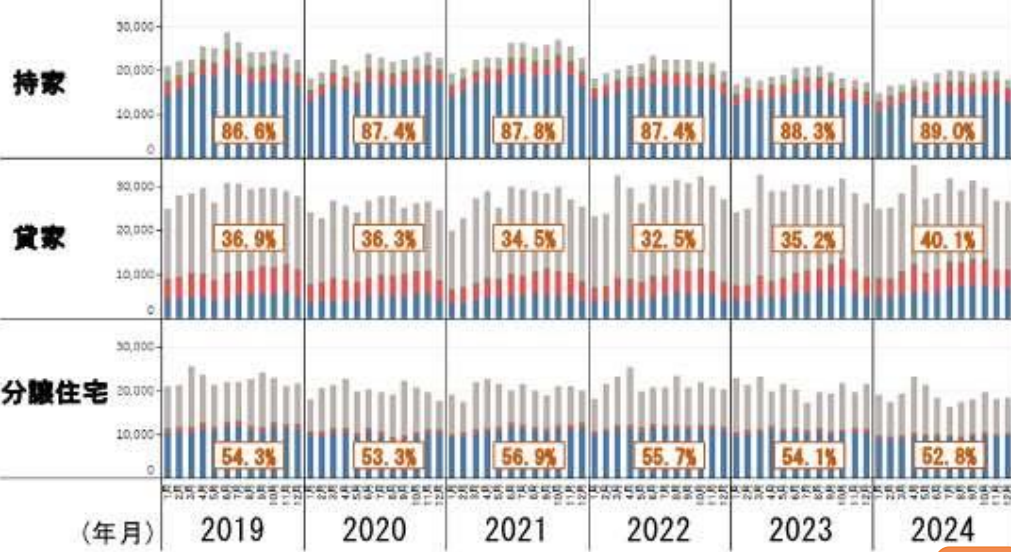
- ・ 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.4%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2024年 1～12月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	792,070	819,623	96.6%	859,529	92.2%
■ 非木造	339,877	365,196	93.1%	381,646	89.1%
■ 木造	452,193	454,427	99.5%	477,883	94.6%
■ 木造プレハブ	10,670	10,329	103.3%	10,144	105.2%
■ 2×4	95,065	90,792	104.7%	91,233	104.2%
■ 在来軸組	346,458	353,306	98.1%	376,506	92.0%
□ 木造率	57.1%	55.4%		55.6%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和6年10月～令和7年1月)

- 【スギ中丸太】 ・ 1月に 定常範囲(上限値)を逸脱した動きがあった。
- 【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和6年10月～令和7年1月)

- 【スギ中丸太】 ・ 1月現在、5ヶ月以上連続した動きはなし。
- 【ヒノキ中丸太】 ・ 1月現在、5ヶ月以上連続した動きはなし。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和6年10月～令和7年1月)

- 【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。
- 【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和6年10月～令和7年1月)

- 【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。
- 【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和6年10月～令和7年1月)

- 【徳島県・愛媛県スギ】 ・ 1月に 定常範囲(下限値)を逸脱した動きがあった。
- 【愛媛県・高知県ヒノキ】 ・ 1月に 定常範囲(下限値)を逸脱した動きがあった。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領(平成25年7月30日付け25四資第19号)の2の(ア)から(オ)に係る確認

〔判断基準・指標〕

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書(平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター)に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ: 「国内企業物価指数」(日本銀行統計)
「木材価格」「製材統計」(農林水産省統計)

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.81%		逸脱下限値 -5.90%						逸脱上限値 21.43%		逸脱下限値 -22.48%		逸脱上限値 17.46%		逸脱下限値 -19.28%	
	前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）			
	10 月	11 月	12 月	1 月	10 月	11 月	12 月	1 月	10 月	11 月	12 月	1 月	10 月	11 月	12 月	1 月
スギ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）	-2.41%	-0.38%	-1.08%	8.41%	-3	-4	-5	1	-3.55%	-3.62%	-3.76%	6.22%	-9.04%	-8.29%	-7.86%	2.50%

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 8.94%		逸脱下限値 -9.16%						逸脱上限値 39.57%		逸脱下限値 -40.72%		逸脱上限値 29.03%		逸脱下限値 -32.85%	
	前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）			